年間授業計画　様式例

高等学校　令和8年度（2学年用）　教科　　国語　　科目　古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：

使用教科書：（古典探究　数研出版　　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め，言語感覚を磨き，我が国の言語文化を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元『十訓抄』「大江山」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できる。 【思考力、判断力、表現力等】 『十訓抄』の構成と標題について理解し、本文の収録意図を推測できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に従って粘り強く話し合いに取り組んでいる。	・用言の活用（動詞・形容詞・形容動詞） ・和歌の修辞法 ・本文の読解 ・古典単語131～160 ・一人１台端末	○		○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	7
	B 単元『大和物語』「をばすて山」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の展開をおおむね理解し、男の心情について把握できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題を踏まえて周囲と協働しながら自分なりの考えを述べられている。	・用言の活用（動詞・形容詞・形容動詞） ・和歌の修辞法 ・本文の読解 ・古典単語131～160 ・一人１台端末	○		○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	7
	C 単元『枕草子』「すさまじきもの」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で「すさまじ」と評される事物の特徴をおおむね説明しつつ、「すさまじ」の意味変遷の歴史を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 課題に従って興味を持ちながら調べ学習に取り組んでいる。	・用言の活用（動詞・形容詞・形容動詞） ・係り結びの法則 ・本文の読解 ・古典単語161～200 ・一人１台端末	○		○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	D 単元『枕草子』「二月つごもりごろに」 【知識及び技能】 説話文学の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 『枕草子』と『古本説話集』の大きな差異を指摘し、それぞれの文章について自分なりの考えを述べることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って粘り強く読み比べに取り組んでいる。	・用言の活用（動詞・形容詞・形容動詞） ・係り結びの法則 ・本文の読解 ・古典単語161～200 ・一人１台端末	○	○	○	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く『枕草子』と『古本説話集』の記述の違いを考え、今までの学習を生かして内容を比較整理しようとしている。	○	○	○	7
2学期	E 単元『徒然草』「花は盛りに」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できている。 【思考力、判断力、表現力等】 「花は盛りに」と『玉勝間』を比較して、論点を抽出することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って粘り強く読み比べに取り組んでいる。	・助動詞のはたらきと活用 （「き」「けり」「つ」「ぬ」） ・古典単語201～240 ・本文の読解 ・一人１台端末	○	○	○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・粘り強く兼好法師と本居宣長の主張の違いを考え、今までの学習を生かして内容を比較整理しようとしている。	○	○	○	7
	F 単元『更級日記』「東路の道の果て」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できている。 【思考力、判断力、表現力等】 「夕顔」「浮舟」の人物像について理解し、作者が共感する理由を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題を踏まえて粘り強く調べ学習に取り組んでいる。	・助動詞のはたらきと活用 （「き」「けり」「つ」「ぬ」） ・古典単語201～240 ・本文の読解 ・一人１台端末	○		○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	G 単元『大鏡』「花山院の出家」 【知識及び技能】 古典における助動詞のはたらきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の背景や古典常識を踏まえて作品の内容を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史物語に興味をもち、物語について自分の考えをもとうとしている。	・助動詞のはたらきと活用 （「ず」「り」「たり」） ・古典単語241～280 ・本文の読解 ・一人１台端末	○		○	・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・歴史物語の特徴をふまえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	7
	H 単元『源氏物語』「小柴垣のもと」 【知識及び技能】 本文を現代語訳できている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の展開を整理し、登場人物の人物像を把握できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に従って粘り強く話し合いに取り組んでいる。	・助動詞のはたらきと活用 （「ず」「り」「たり」） ・古文単語241～280 ・本文の読解 ・一人１台端末	○	○	○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 ・登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	7
3学期	I 単元『論語』「道徳斉礼」「長沮・桀溺」 【知識及び技能】 古典の文章が、現代の私たちの考え方や現代社会の問題点への示唆を含むことについて、理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 孔子の文章に見られる「現代社会に通じる要素」を的確に指摘できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に従って粘り強く話し合いに取り組んでいる。	・助動詞のはたらきと活用 ・漢文のきまり ・古典単語281～330 ・本文の読解 ・一人１台端末	○		○	・先人たちのものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	○	○	○	7
	J 単元『史伝』「四面楚歌」 【知識及び技能】 巻末資料や辞書を調べながら本文を現代語訳できている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の読解を踏まえて、項羽が勝機のない孤立無援状態に陥った際のふるまいや心情について分析できている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に従って粘り強く話し合いに取り組んでいる。	・助動詞のはたらきと活用 ・漢文のきまり ・古典単語281～330 ・本文の読解 ・一人１台端末	○	○	○	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して無いようを的確に捉えている。 ・本文から読み取った項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	8 70